

ウラン濃縮工場 Bウラン貯蔵室 廃品シリンダ
査察封印のき損について

再発防止対策の実施状況

2020年6月17日



日本原燃株式会社

再発防止対策の実施状況

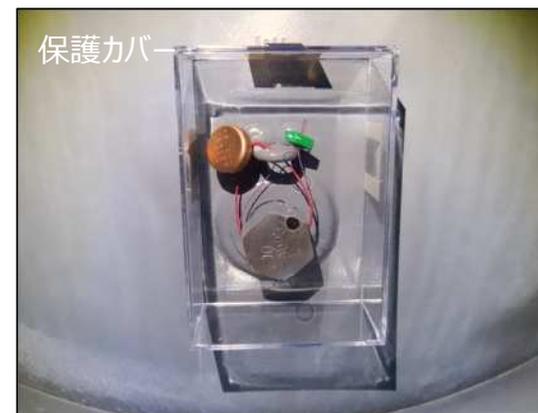


再発防止対策			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
設備対策	①査察封印に透明保護カバー等を常設	当該品	事象発生 ▼3/27 プラグ 666個	報告書提出 ▼4/30 設計検討			※ 6/16時点 230個のうち、156個設置完了		
		展開		試作 現地合わせ	5/29 200個 調達	230個※ ▽	236個 ▽		
			バルブ 667個 扉 45個 仕切弁 12個		設計検討	調達手続き	順次、納品・対策		
	②新たに査察封印エリアを立入り禁止とするためにロープ等で区画設定・表示を行い、作業員以外立入り禁止とする。		4/8暫定処置 ▼表示 グループシール148個	5/19暫定処置（追加） ▼トラテープでエリア区画	設計検討	調達手続き	対策実施		
原因の除去	①手順書について、「作業を廃止できないか」、「作業頻度を見直せないか」、「接近しない方法に変えられないか」検討				洗い出し、改正作業	▽			
	②作業前・後に査察封印の状態を確認することについて、共通ルールに規定する。					6/1施行 ▼			
教育	今回実施した再発防止対策を、定期的（1回／年）に実施している査察封印き損防止教育資料に反映する。				5/22施行 ▼ 5/22特別教育 ▼				

再発防止対策：プラグ



➤ 透明保護カバー等を常設・・・作業時の偶発引っ掛かりを防止



封印種類		封印数量	
シリンダ類	667本	バルブ	667個
		プラグ	666個 ※1
原料シリンダ 製品シリンダ 廃品シリンダ 中間製品容器 付着ウラン回収容器	662本	バルブ (グループシール)	148グループ ※2
		プラグ (グループシール)	
扉	36枚	扉個別封印	45個
仕切弁	12個	個別封印	12個
合計		1538カ所	

※1 シリンダの種類によってバルブとプラグの個数が1対1ではない

※2 グループシールは、シリンダ8本または9本で1グループの封印がある

再発防止対策：バルブ、扉、仕切り弁、グループシール



- 透明保護カバー等を常設・・・作業時の偶発引っ掛かりを防止
- 査察封印エリアを立入り禁止区画に設定・・・作業目的以外の者を立ち入らせない

注意表示



バルブ



扉その1



扉その2



仕切り弁



グループシール



暫定処置

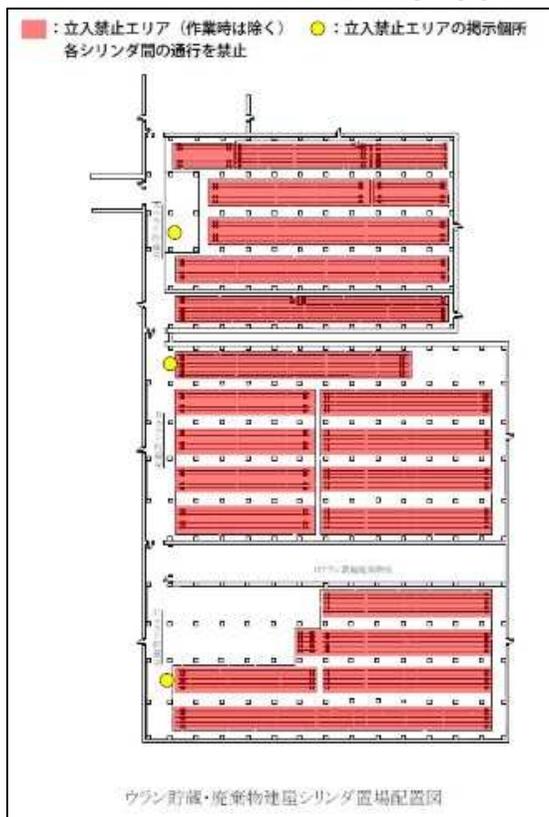


暫定処置として、ウラン濃縮工場に入域するすべての社員および協力会社員に対し、業務以外で査察封印エリアに立入らないことを文書で周知するとともに、以下の処置を実施。

- ① 当該現場に査察封印エリア立入禁止マップを掲示（4/9実施済み）
- ② 当該現場含む、すべての査察封印箇所にエリア設定（5/19追加実施済み）

非常扉であることを考慮

立入禁止エリアマップを現場に掲示



査察封印箇所にエリア設定（トラテープ+注意表示）

